

# ひろの

## 議会だより



### 生活環境を取り戻すため

～広野町汚染廃棄物仮置場整備工事の工事請負契約を承認～②

町民の長期的な健康管理体制を要望～質疑～④

復興に向けた取り組みなど 5議員が町政を問う(一般質問)⑪

### 自分のイメージを形にしよう

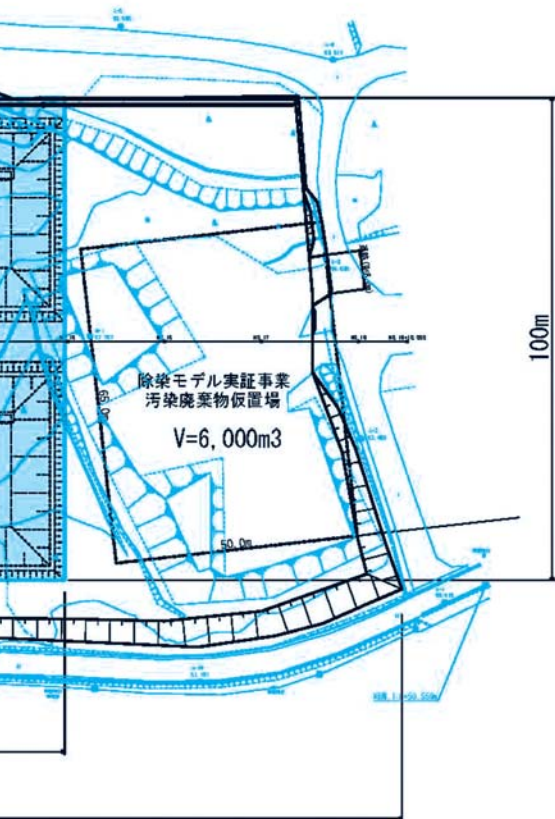
(木工体験教室：高久仮設住宅集会所)

E-mail [gikai@town.hirono.fukushima.jp](mailto:gikai@town.hirono.fukushima.jp)

No.114

平成24年7月20日発行  
福島県広野町議会

# 取りもどすため 工事（2工区）請負契約を議決～



平成24年度整備箇所 (町除染事業分)	
延長	L=220m
幅	W=100m
面積	A=1.60ha
予定収容量	V=37,000m <sup>3</sup>

## 6月 定例会

平成24年6月定例会を、6月12日から13日までの会期で開きました。  
今回は、平成24年度補正予算を中心に、「広野町汚染廃棄物仮置場整備工事（2工区）」の工事請負契約の締結をはじめ、条例の改正など、提出された14の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。  
なお、一般質問では5人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いただきました。

### 6月補正予算 復興事業費における増額

6月定例会に提案された一般会計ならびに3特別会計予算は、一般会計では、復興道路整備事業費および災害公営住宅整備事業費ほかの計上で、特別会計では、災害臨時特例補助金などの計上でした。

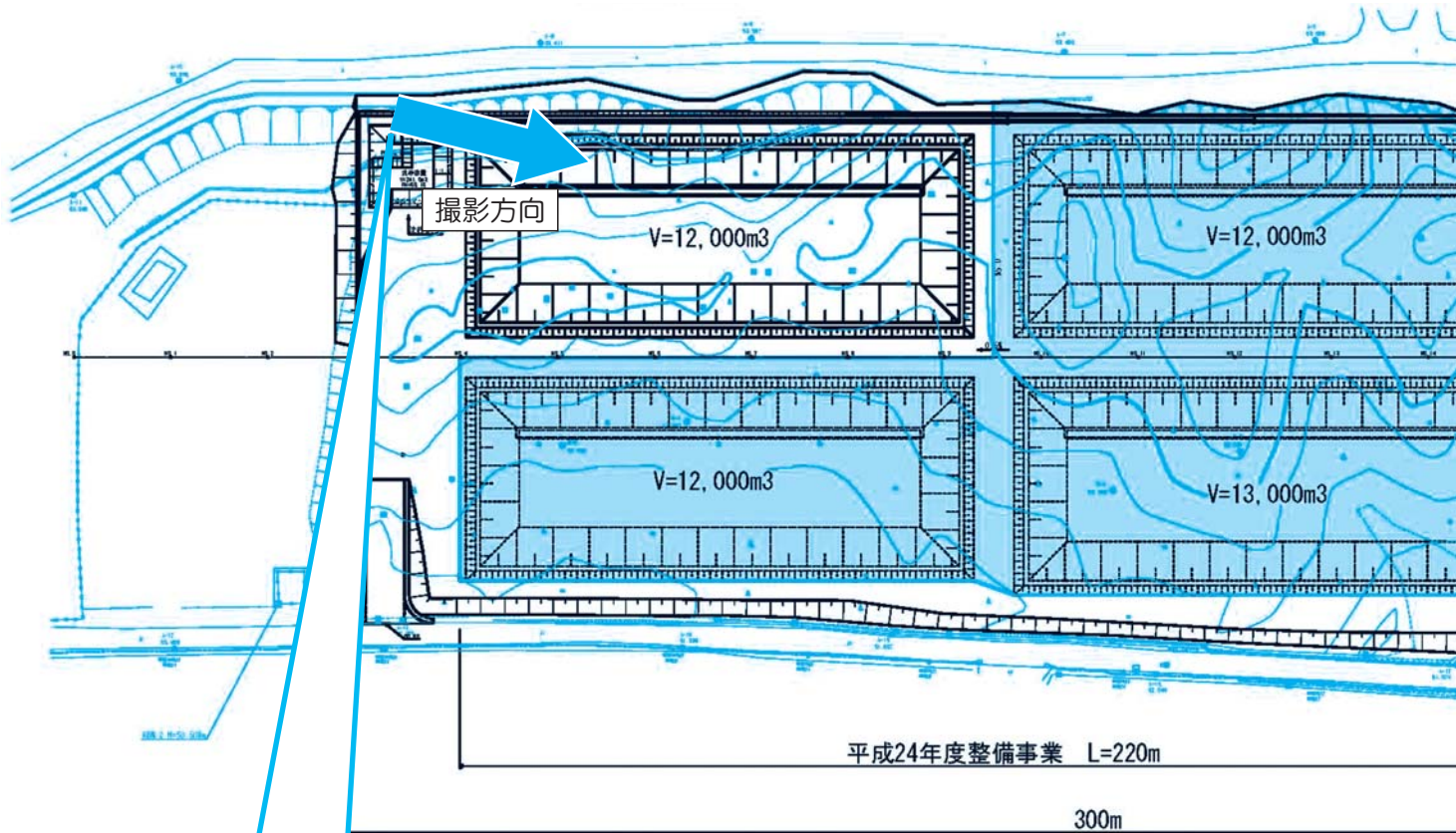
補正の結果		
会計名	補正額	(補正後の予算額)
一般	16億7,044万円	(143億6,081万円)
国民健康保険特別	73万円	(6億6,255万円)
公共下水道事業特別	34万円	(2億 335万円)
介護保険特別	2,542万円	(3億9,255万円)

主な内容	
○復興交付金基金費	10億7,785万円
○復興事業費	3億1,333万円

# 帰町への安全・安心を

～広野町汚染廃棄物仮置場整備



前年度整備事業の仮置き場(下北迫・東町)

## 常磐開発・西本建設特定建設工事 共同企業体が落札

### 工事の名称

広野町汚染廃棄物仮置場整備工事（2工区）

### 工事の場所

広野町大字下北迫字東町地内

**工期** 着工：平成24年6月14日  
完成：平成25年3月15日

**工事代金** 2億4,675万円

**請負者** 常磐開発・西本建設特定建設工事  
共同企業体

**概要** 仮置場 3基

原子力発電所事故で放出された放射性物質は、町民の生活圏にある土砂、汚泥や枝葉、落ち葉などから検出されています。

これらの影響が町民に不安を与え、帰還への大きな障害となっています。

今回の仮置場整備工事は、事故以前の生活環境を取り戻すため、生活圏を除染することで発生する廃棄物の一時仮置き施設の建設を進めるものです。

# 6月定例会 質疑

## 町民の長期的な

## 健康管理体制づくりを要望

6月定例会の質疑では、町民の健康管理体制のあり方などについて、議員からさまざまな意見や要望が出されました。

AED使用説明会を  
実施しているか

遠藤智議員 各仮設住

宅にAEDが設置され  
ています。そのAED  
使用説明会を行ってい  
ますか。

根本町民保健グループ

リーダー 各仮設住宅

で広域圏組合消防署員  
の指導のもと講習会を  
開いています。

ホールボディー

カウンタの稼働は

畑中 大子議員

馬場医

院にホールボディーカ  
ウンタが設置されるこ  
のことですが、いつ設  
置されて、いつから稼  
働するという見通しは  
ありますか。

根本町民保健グループ

リーダー 7月中には

設置され、9月から検  
査ができるように考え  
ています。



ホールボディー  
カウンタ  
(参考)

### 国民健康保険税があがります

10対1で可決

平成24年度国民健康保険税の按分率が改正されることから、「広野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」の制定をめぐる討論が行われ、採決の結果、賛成10、反対1で可決されました。

#### 国民健康保険税条例案に

反対討論

畑中 大子議員

現在、減免されており、医療費も、国保の方は来年の2月28日まで医療費無料となっています。避難している方は本当にこのことで助けられていると思います。来年度以降はどうなるかわからないという状況のなかで、このような多額の増税の案です。

私は被災者のことを考えたら、このようなことを絶対に認めるわけにはいかないという立場でこの条例案に反対いたします。

### 県町村議会議長会から自治功労表彰



坂本 紀一議員

6月4日に福島県町村議長会から坂本紀一議員が表彰され、開議に先立ち鈴木紀昭議長より伝達されました。  
坂本紀一議員は平成15年5月14日から平成23年11月29日までの2期8年以上にわたり、議会議長として地方自治の振興発展と住民福祉向上に寄与された功績に対し贈られるものです。

## 定例会人事

### 人権擁護委員として、新妻富美子氏と根本賢仁氏を再び委員に推薦

新妻富美子氏と根本賢仁氏については、来る9月30日をもって任期満了となりますが、適任者であるため再び委員に推薦することに同意しました。



新妻富美子氏



根本賢仁氏

## 避難受け入れ自治体へ

へんあつわつ

広野町議会では、震災後に町民を受け入れていただいた5市町村（いわき市、小野町、平田村、石川町、浅川町）を4月17日に、埼玉県三郷市を5月21日に訪問し、6市町村の皆さまに御礼のごあいさつに伺いました。

鈴木紀昭議長はあいさつで「震災直後の戸惑っていたときに助けていただいた恩は町史に残さなくてはならない。必ずや復興した姿を見ていただきたい。町民一丸となって頑張ります」と感謝と復興への気持ちを述べました。



感謝の意を伝える鈴木紀昭議長（小野町にて）

## 5月臨時議会

### 町指定金融機関が

### ふたば農業協同組合からあぶくま信用金庫へ

平成24年5月17日に、平成24年5月臨時議会を開きました。

ここでは、苗代替地区住宅整備事業などの補正予算を承認したほか、富士電機株式会社を承認したほか、町指定金融機関の変更は、ふたば農業協同組合から製積算線量計の購入や広野町指定金融機関の変更などを審議し、原案のとおり可決しました。

指定金融機関契約解除の申請によるもので、新たに、あぶくま信用金庫が町の指定金融機関になることを議決しました。

### 議会を傍聴しませんか

次の定例会は9月です。

傍聴の手続きは、議会事務局で住所と氏名を記入するだけです。お気軽に傍聴にお越しください。

【広野町議会事務局】

電話 0240-27-4165



# 会報告

## 状況を報告します。

平成24年5月9日 開催

平成24年5月10日 開催

平成24年4月26日 開催



広野小学校(いわき市立中央台南小学校内)に通学する児童

幼稚園・小学校・共同調理場・中学校施設の災害復旧工事等の進捗状況について各工期、進捗率において契約通り行われています。現在、在籍小学生67人、中学生22人に対しての、先生の人数は変更なく、広野町での授業再開における希望生徒数は6月の保護者説明会後に把握したいとの報告がありました。委員会としては、これまでの復旧状況・除染結果などを常に保護者にお知らせし、また、空調設備設置工事について工期遅れのないよう要請し、学校再開にあたりソフト面においても万全の態勢を取るように提言しました。

総務文教

## 学

校再開へ万全の態勢を要望  
幼・小中学校再開への状況

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故の影響によりJAふたば農業協同組合本店が福島市にあり円滑な金融業務が出来ないため、指定金融機関契約の解除申請がありました。町では、これを受けて新たな指定金融機関として、町内に支店があり町民の利便性を考慮し、あぶくま信用金庫と事前協議にて内諾を得たとの報告がありました。委員会としては、指定金融機関変更が円滑に移行するように要請するとともに指定金融機関としての健全性に注意を払うよう提言しました。

総務文教

## 円

滑に移行するよう要請  
指定金融機関の変更



役場庁舎内の指定金融機関窓口

# 委員

## 委員会の活動

総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会  
東日本大震災災害復興  
に関する特別委員会



復興組合除草作業のようす

産業厚生  
**復**  
復興組合を設立  
被災農家経営再建支援事業

農地除染について約400haを調査し、調査期間を6月～9月としています。それまでの間、農家の方々がただ静観しているだけではなく、被災農家経営再建支援事業による復興組合を設立して、農地の保全管理を行うとの説明を受けました。本委員会としては除草作業などを自己努力で行った方々に対しては、補助金を支給すべしとの申し出と、すでに除草作業などを行った農家の方々に對して

も遡及して補助金を支給するよう提言しました。また、スケジュールありきではなく、出来ることから、その都度取り組むことを前提とし、誰が、何を、どの様に行うかの情報を開示し、町民に安心感を与え、来年の作付けに向けて、当事業を推進するよう強く要求しました。

産業厚生  
**安**  
安全・安心な住宅提供を  
災害公営住宅建設

災害公営住宅建設のため昨年7月中に被災者を対象に聞き取り調査を実施しており、その時点においては入居希望者が40世帯でありましたが、今後、入居の希望者が増えた場合には、当然対処すると

のことでした。予算、用地、設計、建設等々諸事情が多々ある中で、スケジュールを少しでも前倒し入居希望者に一日でも早く、安心安全な住宅を提供するよう提言しました。



災害公営住宅建設予定地



分譲中の大吹地区宅地

特別委員会

コミュニティ確保への配慮を  
2カ所15区画を分譲

震災被災者救済のため  
の住宅地の提供は、  
震災以前造成の大吹宅  
地8区画と新たな苗代  
替宅地7区画、合計15  
区画提供の説明を受け  
ました。

分譲時期は大吹宅地  
が5月以降で苗代替宅  
地は11月以降になる旨

の説明を受けました。

委員会としては、2

カ所15区画の分譲に一定の理解を示したものの、今後の住宅地の提供には、防災集団移転促進事業のもと旧役場

跡地の早急な宅地造成を行い、慎重な優先順位の取扱いと震災以前

のコミュニティ確保の配慮をし、さらに、

双葉郡内の住民の町内移転希望人数を把握し、被災者が望む優良な宅地の提供を行うよう提言しました。

特別委員会

防  
災広場整備事業  
場所は役場庁舎前広場

防災広場整備事業は、災害、非常時における町民の生命を守る施設として防災広場を整備するもので、場所は役場庁舎前広場、施工予定期間は6月上旬～9月中旬との説明を受けました。

防災広場とした防災センター等の機能整備と併せて周辺地域の水利が乏しいことから災害時の水利確保について提言しました。



防災広場整備予定地の役場庁舎前広場



# 地

## 権者の理解をもとに 駅東側地区用地買収について

本事業は、町の復興計画のもと、企業や公的機関などの誘致のため、駅東側地区7haを造成するものであり、筆数49筆、地権者21人、買収価格は当該区域の不動産鑑定価格により

算出することとした。また、買収箇所の面的整備手法の決定と国、県に対する支援、協力要請を行うとする町の方針が示されました。

用地買収には、被災

者、地権者の理解のもとに当たることとした。

委員会としては、企業や公的施設の誘致はしっかりとした確約と担保を取り、各種機関連の情報を集約するなど、慎重な事業推進の申し入れをしました。



津波被害にあった駅東側地区

# 除

## 染進捗状況の情報提供を 同意書回収率は75%

清水建設㈱より8月までに民家除染を終了するとの説明を受けました。

目標値毎時0・23マイクロナンシメートルを下回らなかった場合は、追加除染計画のもと、契約変更により12月までに再除染を実施するとの説明でした。また、除染に係る除染同意書の回収率は約75%とのことでした。

民家除染の立ち会いは、除染業務の相互理解を得るためには重要であり、住人立ち会いの広報と現場協力体制を敷くこと。また、資料等の発行物には発行元を記入することとし、除染進捗状況の情報提供ならびに作業員の健康管理、生活面に渡る指導について要望しました。



追跡  
レポート

## あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成24年3月定例会 ●一般質問  
門馬 まりえ 議員

## 線量計はいつ配布するのか

各家庭に配布される線量計の配布はいつですか。



## 新年度速やかに購入・配布したい

新年度速やかに購入し、町内全世帯に配布します。



## 携帯型放射線測定機器を購入・配布

携帯型放射線測定器（放射線量と線量率を測定する機能付き）を広野町役場福祉環境グループにて配布しています。



町内全世帯に配布された測定器

5人の議員が町政を問う

一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

## わかりやすい町内除染状況を示せ

山田町長／町内除染進捗マップを作成・配布する

**遠藤**

①町内の除染状況について、

広報により図解などでわかりやすい情報を定期的に住民に発信すべきではないですか。

②復興組合等地元企業

業による町内除染が確実にに行えるよう、地元育成を確かなものにするべきではないですか。

**町長**

①わかりやすい広野町除染

進捗マップを作成しました。今後は定期的に除染通信と合わせて情報提供していきます。

②地元企業は、清水

建設と一緒に除染作業の手法や管理などを行い、そこで得た技術や知識を今後の町内除染に生かしていただきます。

## 原子力関連企業の集合化を図れ

山田町長／課題を克服し取り組みたい

**遠藤**

町内原子力関連企業を集合

すべく広野インター西部山間部を目的地に、新たな企業団地を造成すべきではないでしょうか。

**町長**

用地確保や造成に多額の費用を要するなど課題を一つ一つ克服して、取り組んでいきたいと考えています。

## 双葉郡の玄関口としての道路整備を

山田町長／国・県関係機関へ、さらに働きかけを強化する

**遠藤**

中通り方面への交通ルート

(県道上戸渡・広野線)の整備により、本町が双葉郡の南口の玄関口としての役割を果たすべきではないでしょうか。

**町長**

県道整備をはじめ双葉地域

復興に寄与する事業については、国・県関係機関に要望しているところですが、さらに働きかけを強化していきます。

## 被災者へ住宅建築費の助成を

山田町長／国や県の助成制度見ながら検討したい

**遠藤**

町内へ住宅建設する場合、

土地を求める様々な形態に、見舞金、引越し費用、ローン利用分補助などの助成をするのは、町の復興への大きな原動力になるのではないのでしょうか。

**町長**

住宅再建を目指す皆さまへ

の支援は重要であることから国や県の制度を見ながら、検討していきます。

## 復興計画住民説明会を開催せよ

山田町長／説明会などを開催したい

**遠藤**

町の復旧・復興計画

説明会を開催し、復興計画の進捗や課題について説明し、住民の理解を得たい。

**町長**

復興計画は、今年3月に取

りまとめました。現在計画を実現するための実施計画を策定しています。その概要が示していただける状態になれば、説明会などを開催したいと考えています。

## 町営学習塾の新設を

芦川教育長／有効な手段考えながら学力向上に努める

**遠藤**

町営学習塾を新設し、従来

の学力水準を確かなものとし、さらに力強く向上させるべきではないでしょうか。

**教育長**

学習塾も一つ

そのほかの有効な手段も考えながら、より一層の学力向上に努めます。



遠藤 智 議員

# ガレキ置き場の現状と対応は

## 山田町長／災害廃棄物約2万トンが仮置き

**北郷** 国では、双葉郡の北部と南部に1カ所ずつ郡内のガレキを処理する仮設焼却炉を設置する方針であると報道があります。

①災害廃棄物（ガレキ）の仮置き場の現状は

②今後、解体予定の家屋から発生するガレキの量は

③今後、リサイクルを含めた減量化の方策は

**町長** ①木くず、コンクリートがらおよび金属くずなど約2万トンが仮置きされています。

②解体撤去の申請を6月29日まで受付しているところ、現在、解体の対象となる半壊以上の申請は121件、

未判定の件数は37件受付けていますが、ガレキの量は、前年より少なくなると見込んでいます。

③コンクリートからは、処理施設において再生骨材として利用できるよう粉砕して保管しています。また、家電リサイクル法に該当する家電は、法律に基づき、現在まで約1、800台を処理しています。

減量化は、町の考えをしっかりと示し、できるだけ早い時期に結論を出したいと考えています。

減量化は、町の考えをしっかりと示し、できるだけ早い時期に結論を出したいと考えています。

減量化は、町の考えをしっかりと示し、できるだけ早い時期に結論を出したいと考えています。



北郷 幹夫 議員

# 健康アドバイザーを専任せよ

## 山田町長／健康アドバイザーを専任する

**北郷** 放射線専門医師などによる

健康アドバイザーを設

置（専任）し、勉強会、講演会、健康管理へのアドバイス、放射線の悩み相談に応じるなど、町民の健康不安の解消につなげる取組みを伺います。

**町長** 県には、専門的な見地から

広く助言を行うため、放射線などの専門家と構成された「放射線と健康アドバイザーグループ」を設置され、そのメンバーを招致しての講演なども計画しています。町民の健康不安に対しても適切なアドバイスができる健康アドバイザーを専任したいと考えています。

県には、専門的な見地から広く助言を行うため、放射線などの専門家と構成された「放射線と健康アドバイザーグループ」を設置され、そのメンバーを招致しての講演なども計画しています。町民の健康不安に対しても適切なアドバイスができる健康アドバイザーを専任したいと考えています。

# 帰還に向けた生活環境整備は

## 山田町長／環境の整備は必要不可欠

**北郷** 町民の帰還に向けた受け皿

づくりが大事だと思います。その中でも、医療（医院、歯科医院への通院）、日常生活での買物に不安視する声があります。次の2点について、どのような取り組みをしていくのか伺います。

①医療体制の充実の方策は

②商店街の活性化の方策は

**町長** ①通常診療を行っているのは高野病院、一部再開しているのは馬場医院と広野調剤薬局となっていますが、現状の医療体制を維持しながら、診療日数の増加を依頼しています。

②商業環境の整備は必要不可欠です。事業再開をしているところは約4分の3程度です。状況を開きながら、業者と協同し、環境整備に努めます。

①通常診療を行っているのは高野病院、一部再開しているのは馬場医院と広野調剤薬局となっていますが、現状の医療体制を維持しながら、診療日数の増加を依頼しています。

②商業環境の整備は必要不可欠です。事業再開をしているところは約4分の3程度です。状況を開きながら、業者と協同し、環境整備に努めます。

②商業環境の整備は必要不可欠です。事業再開をしているところは約4分の3程度です。状況を開きながら、業者と協同し、環境整備に努めます。

## 町内仮設住宅の入居期限は

## 賠償の継続を

## 農地再生のため「菜の花プロジェクト」を

山田町長／入居期限は1カ月設けている

山田町長／賠償期間の延長を強く要望

山田町長／国の研究結果を踏まえ有効な方法を検討

### 畑中

①被災町民が町内仮設住宅へ入居する期限はありますか。

②町内仮設住宅への引越し期限に余裕を持たせるべきではないですか。

③町内仮設住宅に移ることで、いわき市の仮設住宅などを出なければならぬことに不安や不満の声がありますが、それは町民の自主性に任せるべきではないですか。

### 町長

①②入居期限を募集案内で6月20日までとし、入居決定通知を5月22日に郵送しました。入居期限を約1カ月設けています。

③住み替え前と後の応急仮設住宅の入居期間の重複は原則認められていません。

### 畑中

①東京電力次期社長が8月以降も賠償を継続するという発言が報道されていますが、町に對してどのような説明がありましたか。

②8月以降の賠償についても強く求めていくべきではないですか。

### 町長

①事前に町に對する説明はなく、報道されている情報以外には特に入っていません。

②生活を維持するための最低限の環境が整わない状況での決定は到底容認できないことから、賠償期間の延長を強く要望しています。

### 畑中

①作付けと野菜出荷の見通しはありますか。

②地域の振興と農地の再生、町民の希望につなげられる「菜の花プロジェクト」を实行するべきではないですか。

### 町長

①昨年、当町の畑作物は、検査結果は基準値以下の選定には小学校周辺をはじめ、遊休町有地も検討し、面積要件および宅地化にする時間的な制約もあり、建設が困難と判断しました。

であったことから、作付けして問題はないと考えています。

②菜の花が農地再生への有効な手段なのか判断できていませんので、農林水産省の今後の研究結果を踏まえながら農地の再生に有効な手段を検討していきたいと考えています。

## 津波被災者の気持ちに立った開発計画に

山田町長／安全性が確保されることから選定

### 畑中

①駅東側の宅地計画について、津波のことを思い出させるようなところに住みたくないという気持ちを考慮して、別の場所に変更すべきではないですか。

### 町長

①②災害公営住宅整備予定地は津波の影響がなかった場所であり、県事業においても防災緑地計画もあり安全性がさらに確保されることから選定しました。建設地

### 畑中

町営住宅のほとんどが、古く、汚染されていることから、アルミサッシのガラス戸や畳、ふすまの張り替えや外部の樋などを交換すべきではありませんか。

### 町長

町営住宅の修繕は、町負担で対応する部分と入居者の負担により対応する部分があることから、室内の除染・清掃は基本的には各入居者の皆さまにお願いしています。

## 除染を含めて町営住宅を改良せよ

山田町長／室内除染・清掃は入居者にお願い

畑中 大子 議員

て、津波のことを思い出させるようなところに住みたくないという気持ちを考慮して、別の場所に変更すべきではないですか。

②1つの案として、広野小学校裏などにあ

はありますか。



町内除染作業のようす



門馬まりえ 議員

## 復興計画の進捗状況は

山田町長／集団移転に対して取りまとめる

### 門馬

復興計画が策定され、今年

度から3年間は復旧期と位置づけられて取り組みが展開されています。

①除染は除染通信で進捗状況を把握できますが、同意書の提出のない方への町としての対応は具体的にどのようになっているか伺います。

### ②復興計画で、災害

公営住宅の建設や防災集団移転事業が計画されていますが、防災集団移転は今後どのように進められるか伺います。

### ③復興計画には、具

体的な広野町の姿について多くの町民が参加する※ワークショップなどを開催して町民参加の推進体制を具体的に計画されているか伺います。

### 町長

①地区ごとに集約し、提出

していない方へは、町から連絡し同意書の提出をお願いしています。

②早期に対象住民説明会を開催し、集団移転に対しての取りまとめをします。

③事業によっては時間的な制約により、ワークショップなどのプロセスを得ることができない事業があることもご理解ください。

### ※ワークショップ

地域にかかわるさまざまな立場の人々が自ら参加して、地域社会の課題を解決するための改善計画を立てたり、進めていく共同作業



塩 史子 議員

# 避難マニュアルを早急に策定せよ

山田町長／7月中に町民に配布

**塩** 東日本を揺るがした地震・津波

そして思ってもみなかった原発からの放射能もれにより、全町民が避難を余儀なくされました。今後、ないとは言いきれません。町としては、避難方法・手段、経路・避難先などを定めるべきだと考えます。

**町長** 避難マニュアルの策定は、

町としても早急に策定しなければならぬと認識し、7月中に町民へ配布できるよう準備を進めています。



減免措置が継続される町営住宅

## 町営住宅の減免措置はいつまでか

山田町長／当面継続する

**塩** 今、町営住宅は仮設住宅や

借上住宅などに入居し、住んでいた人も住んでいない状況になっていると思われま。現在の町営住宅の現況を伺います。

①減免措置はいつまで続ける考えですか。  
②各公営住宅の空室は何室ですか。

**町長** ①町営住宅の家賃は、昨年

3月分以降、減免措置を講じ、当面継続をします。家賃徴収再開時期は、入居者の帰還状況、応急仮設住宅の入居期間、借上住宅制度の期間、震災復興特別交付税の見直しなどを勘案し決定します。  
②6月5日現在の空室は、大平団地2戸、蛇木団地2戸、桜田住宅3戸です。

# ま ちかど インタビュー

## 「追悼」と「復興」の祈りをこめて 花火大会開催 広野町を明るく、元気に、復興のきっかけとなれ

東日本大震災により犠牲となった住民の方々を追悼するとともに、福島第一原発事故により避難している住民の再会の機会と位置づけ、本年8月11日（土）、メイン会場を「広野町築地ヶ丘公園」、花火打ち上げ箇所を「浅見川河口」とし、「広野町復興祈念花火大会」が開催されます。

そこで今回は、花火大会をきっかけとして、町の復興への想いや願いなどを町民の皆さまにご意見を伺いました。



鈴木 すみさん  
(下浅見川・広長)

出さなければならぬと思います。

今、町が変わるチャンスだと思えます。今回の花火大会で久しぶりに住民が再会して、たくさん笑顔が咲くことを願います。

私は生まれ育ったこの町がやっぱり好きです。

震災から1年以上がたつても、まだ、皆さん不安を抱きながら生活していると思います。私は町の復興には住民も立ち上がり行政と一緒に復興に向かい歩み



吉田 陽光さん  
(下浅見川・桜田)

避難生活が長引き、子どもたちも不安な心境のなか、この復興祈念花火大会を機会により多くの町民の方が再会し、広野町に戻りたいと思えるイベントになって欲しいと思います。

また、他の町村の方にも広野町に住みたいと思えるような活気ある素敵な町づくりをしてほしいと思います。



平成22年サマーフェスティバルの花火

### 編集後記

「原発は安全」と言われていたときは「セシウム」「ストロンチウム」などの放射性物質や放射線量を示す「シーベルト」「ベクレル」といった専門用語を知ることにはなかつたが、今や日常生活の中でこれらに無関心ではいられない。

本来なら、稲の成長を見守り、日暮れには蛙の合唱に聴き入り、夜には淡く光る蛍火を楽しむ季節を迎えるところに、休耕を余儀なくされた水田は荒れて、生産意欲はおろか労働意欲すら減退してしまつた。

町は今年、放射性物質低減を目標とす

る水稻栽培の実証試験を行なっているが、一日も早く元の美しい田園風景を取り戻したいものだ。

(渡辺 久長)



美しきわがふるさと「広野」

### 次の定例会は9月です

- 発行・編集責任者 議長 鈴木紀昭
- 広報委員会 委員長 渡邊正俊
- 副委員長 北郷幹夫
- 委員 塩 史子
- 委員 渡辺久長
- 委員 遠藤 智
- 委員 畑中大子
- 委員 小磯利雄

